

2015 8/2 (日) 13:30開場
14:00開演

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 中ホール

入場料(全席自由) 一般・前売券……………3,500円

八十二文化財団友の会会員/3000円

※友の会会員の方は小出音楽事務所にお申込み下さい。

一般・当日券……………4,000円

学 生 券……………1,500円



Akiko Omori



Izumi Kamata



Yuri Nitta

Program ~ニールセン生誕150年~

クーラウ:「妖精の丘」序曲 Op.100

Daniel Frederik Kuhlau: Elverhøj Oucerture Op.100

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番 ト長調 Op.58

Ludwig van Beethoven:Konzert für Klavier und Orchester G-dur Op.58

ニールセン:交響曲第4番 「消しがたきもの~不滅~」

Carl August Nielsen : Symfoni 4 "Det Uudslukkelige"

ピアノ:大森晶子

コンサートマスター:鎌田 泉

指揮:新田ユリ

オーケストラ ensemble NOVA

ensemble NOVA
Summer Concert 2015

Program notes~プログラム・ノート

北欧デンマークの首都コペンハーゲンに、1810年偽名を使って降り立ったクーラウはドイツからデンマークへ渡った人。1813年には正式に市民権を得た。クーラウと言えば「ソナチネアルバム」というピアノ学習者が懐かしむ教則本でおなじみ。クーラウがデンマークに新たな音楽の世界を開いた人として名前が知られた当時、北欧音楽の世界はようやくモーツァルト、ベートーヴェンが紹介された頃。その二人を限りなく敬愛したクーラウ。シラーの「歓喜に寄す」を用いたカンタータはベートーヴェンの「第九」より前の1813年に書いていた。1825年にはベートーヴェンとも会っている。その40年後、1865年にカール・ニールセンが生まれた。彼らの間には、1817年生まれのエニルス・ゲーゼが存在している。ゲーゼはメンデルスゾーンに見いだされた北欧音楽の父。ドイツとデンマークに確かに存在している音楽の橋。両国の政治的な橋はベートーヴェンの生まれた1770年代から、ニールセンが交響曲第4番を書いた1914年~16年にかけて断続的に外された。それでも芸術の魂を持つ作曲家達はその才能の中、互いの影響を受けながら豊かな音の言葉を紡ぎ続けた。

今年生誕150年を迎えたニールセン、昨年取り上げたフィンランドのシベリウスも同級生!

新田ユリ

※曲目および出演者は予告なしに変更する場合があります。

後援

長野市教育委員会
公益財団法人八十二文化財団
信濃毎日新聞社
ブレイガイド
ながの東急
ヒオキ楽器本店・佐久平店
美鈴楽器、浅井管楽器工房
平安堂上田店
ホクト文化ホール
(長野県県民文化会館)
お問合せ・マネジメント
小出音楽事務所

Tel.026-223-5171